G7 広島 対抗アクションに向けて

小倉利丸
toshi@jca.apc.org
070-5553-5495

G7/8 とは何なのか

サミットに関する基礎的な Q&A(外務省)

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/summit/ko_2000/faq/index.html

- G7 サミット（主要国会議）：仏，米，英，独，日，伊，加（議長国順）の 7 か国及び欧州連合（EU）の首脳が参加。
- 事務局を置いていない。
- 冷戦終結後，ロシアも加わった G8 サミットが開催。
- ウクライナ情勢を受けた G8 への参加停止により，2014 年以降は露を除く 7 か国及び EU の首脳による G7 サミットとなる。
- G7 サミットでは，その時々の国際情勢が反映された課題について，自由，民主主義，人権などの基本的価値を共有する G7 首脳が一つのテーブルを囲みながら，自由闊達な意見交換を通じてコンセンサスを形成し決定。
- 成果が首脳宣言としてまとめられる。
- G7 の首脳のリーダーシップが必要となります。首脳がトップダウンで物事を決めるため，適切な決断と措置を迅速に行うことが可能になる。
- G7 サミットは，基本的価値を共有する G7 首脳のリーダーシップにより，国際社会が迅速に解決することが求められている問題に効果的に対応。

G7とは何なのか

サミットに関する基礎的なQ&A(外務省)

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/summit/ko_2000/faq/index.html

議長国の任期及び役割

- G7サミットを開催する国が，開催する年の1月～12月の1年間，サミット議長国となる
- サミット議長国は，サミット開催に向けた事前の準備会合や，実際の首脳会議，外務大臣会合，財務大臣・中央銀行総裁会議等の各閣僚会合の開催のための諸準備及び議事進行を行う。
- 更に，その時々の国際情勢を反映して，必要に応じて緊急会合の呼びかけを行うこともある。
- 1979年（東京サミット），1986年（東京サミット），1993年（東京サミット），2000年（九州・沖縄サミット），2008年（北海道洞爺湖サミット），2016年（伊勢志摩サミット）

G7 とは何なのか

伊勢志摩サミットの場合

首脳会議　　5 月 26 日～ 27 日 三重県伊勢志摩
関連会合：
外務大臣会合　　　4 月 10 日～ 11 日 広島県広島市
農業大臣会合　　　4 月 23 日～ 24 日 新潟県新潟市
情報通信大臣会合　4 月 29 日～ 30 日 香川県高松市
エネルギー大臣会合　　　5 月 1 日～ 2 日　福岡県北九州市
教育大臣会合　　　5 月 14 日～ 15 日 岡山県倉敷市
環境大臣会合　　　5 月 15 日～ 16 日 富山県富山市
科学技術大臣会合　5 月 15 日～ 17 日 茨城県つくば市
財務大臣・中央銀行総裁会議　　5 月 20 日～ 21 日 宮城県仙台市
保健大臣会合　　　9 月 11 日～ 12 日 兵庫県神戸市
交通大臣会合　　　9 月 24 日～ 25 日 長野県軽井沢町

会合はほぼ一年中開催されている。各課題ごとに各地での取り組みも必要になる

G7 とは何なのか

2023 首脳会合 5 月 19 日から 21 日

科学技術大臣会合	仙台市
男女共同参画・女性活躍担当大臣会合	栃木県・日光市
内務・安全担当大臣会合	茨城県・水戸市
デジタル・技術大臣会合	群馬県
外務大臣会合	長野県・軽井沢町
貿易大臣会合	大阪府
財務大臣・中央銀行総裁会議	新潟県・新潟市
教育大臣会合	富山県・石川県
保健大臣会合	長崎県・長崎市
労働雇用大臣会合	岡山県・倉敷市
農業大臣会合	宮崎県・宮崎市
気候・エネルギー・環境大臣会合	札幌市
交通大臣会合	三重県・志摩市
都市大臣会合	香川県・高松市

会合はほぼ一年中開催されている。各課題ごとに各地での取り組みも必要になる

G7 とは何なのか

サミットに関する基礎的な Q&A(外務省)

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/summit/ko_2000/faq/index.html

準備

「シェルパ」と呼ばれる首脳の補佐役が中心になって行う

参考：河野雅治 「G8 洞爺湖サミット『シェルパが語る首脳外交の舞台裏』」

https://www.academyhills.com/note/opinion/tqe2it0000000ad6.html

Center for Strategic and International Studies (CSIS) ： Assessing the 2022 G7 Summit: The Sherpa Perspective, July 22, 2022

https://www.csis.org/analysis/assessing-2022-g7-summit-sherpa-perspective

例： 2019 年フランスの場合：シェルパ、サブシェルパ会議を頻繁に開催している。

フランス大使館： https://jp.ambafrance.org/article14804

G7 とは何なのか

政策提言型 NGO は、シェルパとの会議を持つことで影響力を行使しようとする。

Civil Scoiety 7(C7) による政策提言

https://civil7.org/

2022 コミュニケ

https://civil7.org/wp-content/uploads/2022/05/Civil7-Communique-2022-1.pdf

(例)World Vision 「 G7 コーンウォールサミット】 2021 年イギリス G7 に向けて、シェルパと政策対話を実施」

https://www.worldvision.jp/news/advocacy/20210414.html

G7とは何なのか

アウトリーチがかなり広い

- Gサイエンス学術会議＊学術会議
  のプロジェクトでG7と連動

https://www.scj.go.jp/ja/int/g8/index.html

共同声明「脱炭素化：国際的な行動の緊急的必要性」では原発も容認する

・レイバーサミット(連合)

https://web.archive.org/web/20181116095057/https://www.jtuc-rengo.or.jp/news/news_detail.php?id=1144

G7諸国ナショナルセンター代表、国際労働組合総連合（ITUC）、国際労働組合総連合アジア太平洋地域組織（ITUC-AP）、OECD労働組合諮問委員会（TUAC）の代表は東京に集まり、今回の伊勢志摩サミット議長である安倍総理大臣との協議・要請を実施

・皇室外交

東京サミットでは宮中晩餐会の前例。2021年イギリス開催ではエリザベスが首脳と会見。

G7とは何なのか

参加国は7+1だけではない。 2022年の場合、インド、インドネシア、セネガル、南アフリカ、アルゼンチンも参加(たぶん議長国のドイツが提案したもの)

「G7とそれ以外の国との対決という印象を与えないようにしたのです。 G20の議長国であるインドネシア、巨大な人口を抱えるインド、アフリカ連合の議長国であるセネガル、南アフリカ、現在のCELAC議長国であるアルゼンチンなどを意図的に招聘しました。国連での議決や制裁の実施状況を見ると、必ずしも完全に一致しているわけではない国ばかりです。

　しかし、重要な国、大きな民主主義国家、経済的に強力な民主主義国家には、手を差し伸べ、対話に参加させたいという意思を象徴的に示したいと思っています。 G7が彼らと一緒に働き、彼らと足並みを揃えたいのだということを、彼らに理解してもらいたかった。私たちは意識的に彼らとの交流を図り、 G7の世界に統合することを目指しました。特に、ロシアの侵略がますます残忍さを増し、食糧安全保障の面でも問題が生じている中で、これは非常に重要なシグナルであったと思います。」 Jörg Kukieの発言 前掲 Assessing the 2022 G7 Summit

Jörg Kukie ： ドイツの経済・金融・欧州担当の国務長官で、 G7とG20のドイツのシェルパ

G7 とは何なのか

政策の「革新」：ドイツのエネルギー政策転換を実現したこと

「G-7 は、エネルギーや気候など、その時々のニーズに対応した政策イニシアチブだけでなく、政策革新の拠点でもあるということですね。一例を挙げれば、米国が G7 のパートナーとともに多くの時間を費やして考え、行動した重要なことのひとつは、ロシアの原油価格に上限を設けるというような可能性を開くための仕事でした。世界のエネルギー市場、つまり原油市場の安定と供給を維持しつつ、ロシアが侵略戦争でもたらすことのできる収入や資源を圧迫するような措置を取ることができる、というこの考えで一致することが、サミットまでの数週間、非常に激しい外交の対象となったのであり、この種の政策の革新であることはご存知のとおりです。 G7 は、その時々の最も重要な問題について話すだけでなく、政策の革新の源となることができるグループなのだ」 Caitlin Welsh の発言

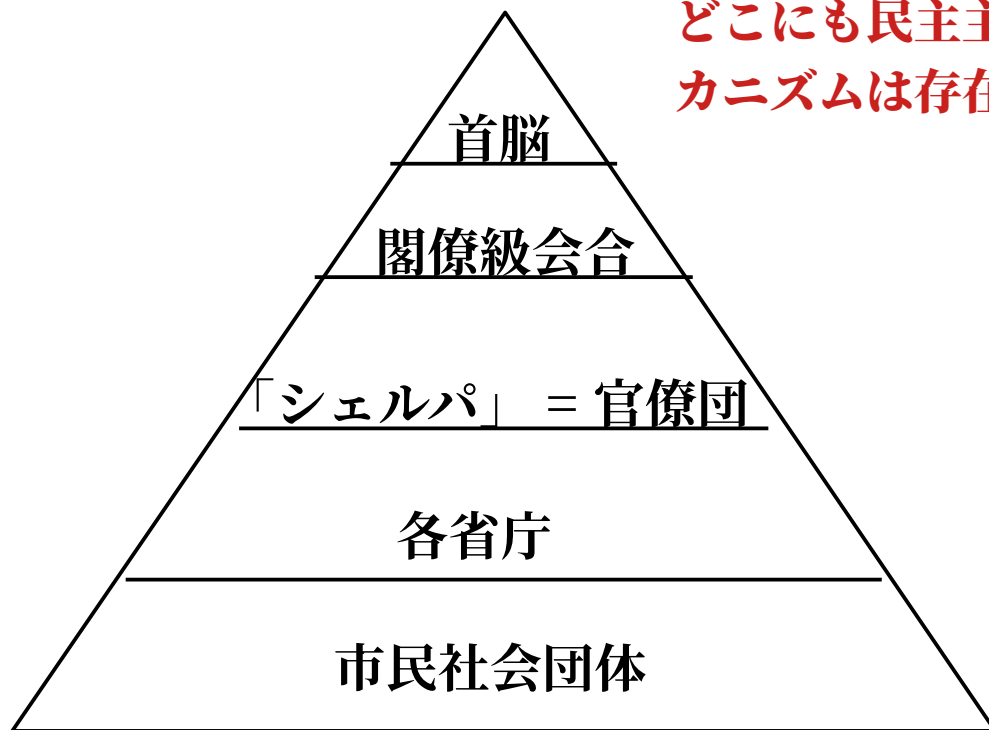
Caitlin Welsh ： CSIS の食糧安全保障ディレクター

G7 とは何なのか

サミットとは

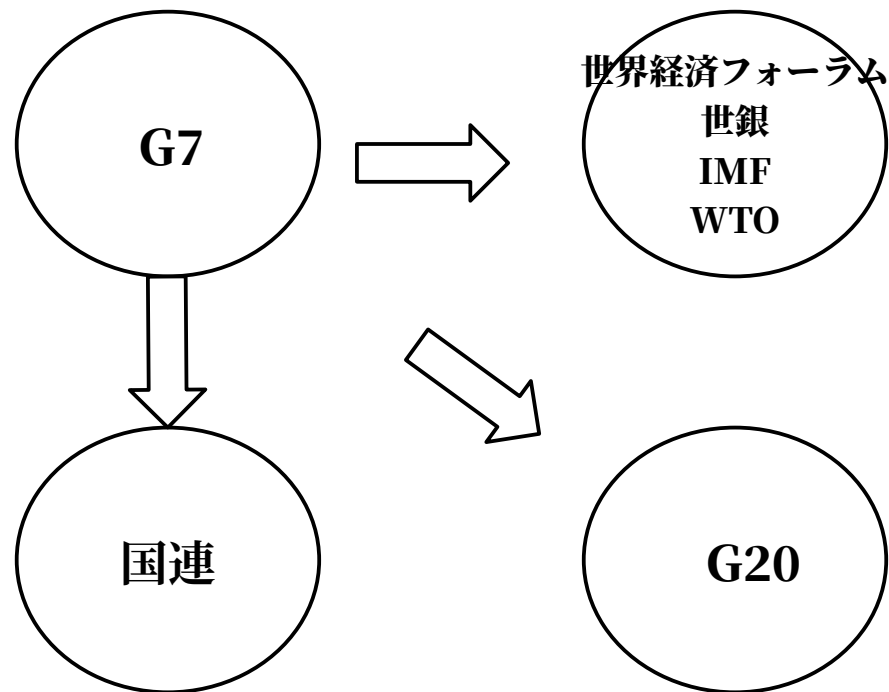
7 カ国の首脳を頂点としたグローバル資本主義のイニシアチブの枠組

サミット各国からみると

- 首脳会談
- 閣僚級会合
- 「シェルパ」＝官僚団
- 各省庁
- 政策提言と対話の枠組のなかに組み込まれた「市民社会団体」などがぶら下がる。

どこにも民主主義のメカニズムは存在しない

G7とは何なのか

サミットとは

- IMF、世界銀行、WTOの国際経済機関とともに、国連の一国一票制度を牽制してグローバルな政治のイニシアチブで国連よりも優位に立つことを画策
- 世界経済フォーラム＝市場のアクターによるグローバル資本主義の調整と対をなす
- G20を媒介として、第三世界での主導権を握ることを画策したが、これは失敗している

国連の政治的な機能が弱体化すればするほどG7の存在感は高まるが、同時に、G20など非G7諸国の影響力も高まり、国際秩序をめぐるガバナンスが脆弱になる。

広島サミット

首相官邸

https://www.kantei.go.jp/g7hiroshima_summit2023/index.html

Ｇ７広島サミット準備会議

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/g7hiroshima_junbikaigi.html

Ｇ７広島サミット準備会議（第一回会合）（結果）

７月２５日午前１０時４５分から約２０分間、Ｇ７広島サミット準備会議（第一回会合）が開催されました。会合は、栗生俊一内閣官房副長官を議長とし、各府省の関係者が出席しました。

１　会合では、この準備会議の下で関係府省の局長級により構成されるセキュリティ対策部会及び広報部会、同課長級により構成される幹事会を開催する旨決定するとともに、各府省庁等より、サミットに向けた準備状況について報告がありました。

２　会合の最後に、栗生副長官から、会議の円滑な運営と万全な警護を含め、政府一丸となって準備に取り組むよう指示がありました。なお、次回会合は、今後の準備状況を踏まえ、適切な時期に開催される予定です。

（以上）

広島サミット

2022 エルマウサミットでの岸田総理発言

「G7 広島サミット

　会議の締めくくりにあたり、岸田総理はショルツ首相から来年の議長国として発言を求められ、次回の G7 サミットを 2023 年 5 月 19 ～ 21 日に広島で開催することを表明し、これに対して G7 首脳から歓迎の意が示されました。

　岸田総理は、世界が、ウクライナ侵略、大量破壊兵器の使用リスクの高まりという未曽有の危機に直面している中、来年の G7 サミットでは、武力侵略も核兵器による脅かしも国際秩序の転覆の試みも断固として拒否するという G7 の意思を、歴史に残る重みをもって示したい旨述べました。また、唯一の戦争被爆国である日本の総理大臣として、広島ほど平和へのコミットメントを示すのにふさわしい場所はないと考えている、核兵器の惨禍を人類が二度と起こさないとの誓いを世界に示し、 G7 首脳の皆さんと共に、平和のモニュメントの前で平和と世界秩序と価値観を守るために結束していくことを確認したいと述べました。」

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/page4_005632.html

2022　G7サミット（ドイツ、エルマウ）

- 外務省
  - 概要・成果文書

https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/pc/page3_003239.html

  - G7首脳コミュニケ、個別声明、７つのセッション

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/page4_005632.html

- 首相官邸

https://www.kantei.go.jp/jp/tag/0033.html

- 農林水産省

https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokusei/kanren_sesaku/2022G7Elmau.html

2022　G7サミット（ドイツ、エルマウ）

- 経済産業省

https://www.meti.go.jp/policy/trade_policy/G7G8/index.html

  - 貿易大臣会合 2022年3月23日　G7貿易大臣会合
  - デジタル大臣会合 2022年5月10-11日　G7デジタル大臣会合
  - 気候・エネルギー・環境大臣会合
    - 2022年5月26-27日　気候・エネルギー・環境大臣会合
    - 2022年3月28日　臨時G7エネルギー大臣会合
    - 2022年3月10日　臨時G7エネルギー大臣会合

- 財務省 7か国財務大臣・中央銀行総裁会議(2022年)

https://www.mof.go.jp/policy/international_policy/convention/g7/cy2022/index.html

2022　G7 サミット（ドイツ、エルマウ）

- デジタル庁 大臣宣言 G7 デジタル大臣会合 2022 年 5 月 11 日
  https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/information/field_ref_resources/0b302f8b-dc10-45e2-964f-9f9cac2808db/41aa9ee1/20220512_news_minister_japanese_04.pdf
- 法務省、警察庁 臨時G 7 内務・治安担当閣僚会合 2022 年 3 月 24 日
  https://www.npa.go.jp/bureau/soumu/kokusai/g7_20220324.html

  警察庁 https://www.npa.go.jp/bureau/soumu/kokusai/g7_20220324.html

  ウクライナにおける戦争の影響に関する G7 内務・治安担当閣僚による共同宣言
  2022 年 3 月 24 日
  https://www.npa.go.jp/bureau/soumu/kokusai/renkei/20220420ger.pdf

2022　G7 サミット (ドイツ、エルマウ)

二国間会談 https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/page6_000709.html

- 岸田総理大臣とフォン・デア・ライエン欧州委員長との会談（令和 4 年 6 月 28 日）
- 日英首脳会談（令和 4 年 6 月 28 日）
- 日・南ア首脳会談（令和 4 年 6 月 27 日）
- 日・アルゼンチン首脳立ち話（令和 4 年 6 月 27 日）
- 日・セネガル首脳会談（令和 4 年 6 月 27 日）
- 日米首脳会談（令和 4 年 6 月 27 日）
- 岸田総理大臣とミシェル欧州理事会議長との会談（令和 4 年 6 月 27 日）
- 日加首脳会談（令和 4 年 6 月 27 日）
- 日仏首脳会談（令和 4 年 6 月 26 日）
- 日独首脳会談（令和 4 年 6 月 26 日）

2022　G7 サミット ウクライナ関連

ウクライナ問題について、官邸、各省庁のサイト以外の情報

Ｇ７大使ウクライナ・サポート・グループ

- G7 Ambassadors' Support Group for Ukraine Priorities for 2022 https://kiew.diplo.de/blob/2509224/f2290f2d01ea6d5e112dbdf65df7fe40/g7-priorities-2022-data.pdf
- twitter https://twitter.com/G7AmbReformUA
- 在ウクライナ日本大使館 (2015 年)：Ｇ７大使「ウクライナ・サポート・グループ」会合の開催

https://www.ua.emb-japan.go.jp/jpn/taishi/info/2015report_29.html

- 報道 Ｇ７大使、２０２２年のウクライナ改革サポート計画を発表

https://www.ukrinform.jp/rubric-polytics/3394998-da-shiniannoukuraina-gai-gesapoto-ji-huawo-fa-biao.html

資料、情報源

トロント大学 G7 Information Centre たぶん最も包括的にドキュメントを収集し、アカデミックな分析を提供しているサイト

http://www.g7.utoronto.ca/

「サミットの中の日本。シュロス・エルマウから広島へ」ヒューゴ・ドブソン（シェフィールド大学)2022 年 6 月 27 日

https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/TtfYGLVm1fHDt4tl-EA2bXFePUsbXS2trU+1NPLJYXY/

反対運動

エルマウ　https://www.aljazeera.com/news/2022/6/25/protesters-trickle-into-munich-as-g-7-set-to-convene-in-germany

Anti-G7 protests take place near venue

https://news.yahoo.com/anti-g7-protests-place-near-164635626.html

https://www.merkur.de/lokales/garmisch-partenkirchen/garmisch-partenkirchen-ort28711/g7-gipfel-elmau-protestcamp-demo-stop-g7-garm
r

https://www.stop-g7-elmau.info/en/

反対運動 alternative summit

20 – 21.30 Uhr
Infoshop 6: Globale Gesundheit statt Profit!
Ungleichheit und solidarische Politik in der Pandemie

Angesichts der Pandemie sollte das Handeln von globaler Solidarität und dem Menschenrecht auf Gesundheit geprägt sein. Allen sollte der Zugang zu lebensrettenden medizinischen Gütern ermöglicht werden, überall. Stattdessen schützen die G7-Staaten die Profitinteressen der Pharmakonzerne. Die Nebenwirkungen dieser Politik sind tödlich und werden auch die wirtschaftliche, geographische und soziale Ungleichheit dramatisch vergrößern. Wie muss eine global gerechte Gesundheitspolitik aussehen? Welche Formen des Widerstands gibt es bereits?

Anne Jung (Leiterin der Abteilung Öffentlichkeitsarbeit und Referentin für globale Gesundheit bei medico international)
Lauren Paremoer, (senior lecturer in the Political Studies Department of the University of Cape Town, People´s health movement, South Africa)

BLOCK II Wirtschafts + Handelspolitik

Online: https://eu01web.zoom.us/j/68387748543

Die Teilnahme ist kostenlos. Spenden sind willkommen. Eine Anmeldung ist nicht nötig.

Bei den Infoshops 1 und 6 werden die Referent*innen aus dem Globalen Süden simultan übersetzt.

Wer bei Teilnahme in Präsenz diese in Englisch (ohne Übersetzung) hören möchte, bitte Handy und Kopfhörer mitbringen.

Zoomlinks zur Online-Teilnahme:

Einführung + Block I - Finanzpolitik:
https://eu01web.zoom.us/j/64320251176
Meeting-ID: 643 2025 1176

Block II: Wirtschafts + Handelspolitik:
https://eu01web.zoom.us/j/68387748543
Meeting-ID: 68387748543

WEITERE INFOS:
www.stop-g7-elmau.info/aktionen/alternativgipfel

Noch Fragen? Mail an gisela.voltz@mission-einewelt.de

Ort: EineWeltHaus München, Schwanthalerstr. 80
(10 min vom Hbf)

Gefördert über Mission EineWelt aus Mitteln der Evang.-Luth. Kirche in Bayern

OXFAM Deutschland

G7-Alternativgipfel
Global gerecht
Wirtschaften in Krisenzeiten

Freitag, 24. Juni 2022, 15 – 21.30 Uhr

EineWeltHaus München
und online
www.stop-g7-elmau.info/aktionen/alternativgipfel

反対運動 キャラバン、 気候変動

キャラバン（上）https://cryptpad.fr/pad/#/2/pad/view/ICQ0MxSK-bTbTA4GKT0v5f4H8gPvGRD1UdHvWGCtZ4k/
気候変動（右）https://www.climatecooperation.org/gekko-7/

反対運動

エルマウ

México!
für das Leben

Freiheit und Selbstbestimmung für das
Solidarität mit dem kurdischen
XETA SOR

反対運動

エルマウ

G7 = Militarización
Ecocidio, muerte en México!
NO
Corredor Interoceánico
Tren Maya
Proyecto Integ...
Morelos
Für das
stat
G7
FIGHT G7
Den Imperialismus treffen wir hier.

反対運動

エルマウ

FIGHT G7
Den Imperialismus
treffen wir hier.

NOW WE CAN START!
ACT NOW!
WAR IN UKRAINE
CLIMATE CHANGE
ENDING CHILD ABUSE
#BeBraveOlaf
#TrauDichOlaf
Eckiger Tisch
brave movement
End Childhood Sexual Violence

STOP BURNING OUR PLANET!
OXFAM

洞爺湖サミット・伊勢志摩サミット反対運動

https://www.jca.apc.org/alt-g8/

伊勢志摩サミット反対運動
https://g7tsukuba.hatenablog.jp/entry/2016/04/05/034437

NGO の動き

G7 にこれまでも関与してきた主要な日本の NGO の枠組

Japan NGO Center for International Cooperation (JANIC)

https://www.janic.org/en/

Japan Platform

https://www.japanplatform.org/

すでに、活動を開始している。

NGO の動き

G7 市民社会コアリション 2023

https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/#home

本会は、 2023 年に日本で開催される G7 サミット首脳会議および関連閣僚会議に、市民社会の声が反映され、 2030 アジェンダが掲げる「誰ひとり取り残さない社会」の実現に貢献できるよう、議 長 国である日本政府を含む G7 各国政府に働きかけることを目的

共同代表（2 名）

木内真理子（特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン　事務局長）／松原裕樹（特定非営利活動法人 ひろしま NPO センター　専務理事・事務局長）

幹事団体（全 14 団体）特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター（PARC）（担当：内田聖子）／一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク（担当：大橋正明、新田英理子）／特定非営利活動法人 「環境・持続社会」研究センター（JACSES）（担当：足立治郎、遠藤理紗）／一般社団法人 環境パートナーシップ会議（EPC）（担当：星野智子）／特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会（担当：栗田佳典）／特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター（JANIC）（担当：若林秀樹、堀内葵）／GII/IDI に関する外務省 /NGO 定期懇談会（担当：神谷麻美）／持続可能な社会に向けたジャパンユースプラットフォーム（JYPS）（担当：本行紅美子）／特定非営利活動法人 DPI 日本会議（担当：中西由起子）／特定非営利活動法人 日本 NPO センター（担当：吉田建治）／特定非営利活動法人 PIECES（担当：小澤いぶき）／ピースボート（担当：川崎哲、メリ・ジョイス、渡辺里香）／特定非営利活動法人 ひろしま NPO センター（担当：松原裕樹）／特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン（担当：木内真理子）

【7/8 開催】「G7 広島サミットに向けて：変革の時代における市民社会の提言」－ G7 市民社会コアリション 2023 設立記念イベント

https://www.janic.org/blog/2022/07/05/g7_civilsociety_coalition2023_establishmentevent/

2023年5月「G 7広島サミットを問う市民のつどい」参加の呼びかけ

「唯一の原爆被爆国」と喧伝し「最終的な核廃絶」というごまかしで市民を騙し続け、一方で米国の核抑止力の拡大に全面的に依拠し続けている岸田首相が、自らの選挙区で見せかけの「反核」を演じるという欺瞞的姿勢

ロシア・中国・朝鮮民主主義人民共和国（以下、「朝鮮」）の「核の脅威」を強調することで核抑止力を正当化し、市民にその正当化思想を浸透させようという意図

G7サミットを「被爆地」広島で開催しようという構想の裏には、その結果としての公式声明文に「被爆地からのお墨付き」を与えようという目論みが隠されている

来年5月のG 7サミットでは、インド太平洋地域諸国の軍事力を米国・ NATOに統合し、中国・ロシア・朝鮮国を封じ込めるという「新戦略構想」を強化するために、核抑止力の維持・強化がはかられようとしている。広島開催により、核兵器削減を議論することはありえない。

2023年5月「Ｇ７広島サミットを問う市民のつどい」参加の呼びかけ

https://www.jca.apc.org/no-g7-hiroshima/